

専門部会 30 年度報告 上半期

部会名(相談支援 部会)

経過	<p>4月・・・活動内容の確認・役割分担確認・事例検討会・・・部会員 5月・・・地域生活支援拠点 沙羅の家清水見学会・・・オープン 6月・・・施設就労支援部会合同・・・オープン 7月・・・学習会実施。「報酬改定による計画相談について」・・・オープン 8月・・・障害福祉課CWとの懇談会。テーマ：「虐待について 地域でできる事」・・・オープン</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会では、医療的ケアの必要な家庭の支援・学校問題を検討した。 ・地域生活支援拠点 沙羅の家清水の見学会では、実際に施設内を見る事でき、より理解が深まった。 ・施設就労支援部会との合同部会では、相談支援専門員の周知と、サービス等利用計画書と個別支援計画の整合性について理解を深めた。 ・「報酬改定による計画相談について」のミニ学習会を通してより理解を深めた。 ・CWとの懇談会では、6グループに分かれて検討した。その中で日々の支援での疑問や不安などの率直な意見を出しあう。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会を通して、医療的ケアの必要な家庭全般に対する支援不足。 ～学校内で、胃ろうからの注入対応ができない為、母親が付き添っているケース。母親のレスパイトをどう考えていくか？～ ・CWとの懇談会では、虐待やそのリスクのある家庭を支えていくにあたり、地域力やネットワークの構築を充実させていく必要がある。
本会での報告事項	<p>・12月20日 学習会実施予定。テーマは「感覚統合について理解を深める」。 講師は、うめだあけぼの学園 酒井康年氏。</p>
その他	<p>・平成30年4月から部会の構成メンバーを変えて約半年が経過し、部会内での意見が活発に出るようになり部会員全員が同じ意識で参加できている。</p>

